

## 「原子力人材育成ネットワーク」の発足にあたって

平成22年11月19日

(社)日本原子力産業協会

理事長 服部 拓也

本日、わが国の原子力関係各機関が相互に連携・協力し、一体となって各種の原子力人材育成活動や事業等を効率的、効果的に推進することを目的とした「原子力人材育成ネットワーク」が発足した。

エネルギー安定供給や地球温暖化防止の観点から、世界的に原子力発電が再評価されるなか、この原子力ネットワークの流れを確実なものとしていくためには、原子力開発利用の伸張を支える人材の育成は急務である。原子力の将来は、いかに適切な人材が確保されるかにかかっていると云っても過言ではない。

わが国の現在の原子力人材育成活動を見ると、個々の機関における個別の活動は積極的に実施されており、それぞれの役割を果たされているところであるが、今後、わが国の原子力が一層の国際展開を目指すためにも、世界標準となる原子力人材育成体系を整備し、日本ブランドとして見えるようにしていくことが重要である。

今般、国（内閣府、文部科学省、経済産業省、外務省）の呼びかけのもと、国内関係機関の相互協力に基づく「原子力人材育成ネットワーク」が発足したが、これを契機として、産学官のあらゆる関係機関の相互協力のもと、わが国として一体となった原子力人材育成体制が構築されることにより、国内の技術基盤の強化のみならず、国際的な原子力人材育成に貢献する活動が促進されるものと考えられる。

本ネットワークは、(独)日本原子力研究開発機構および(社)日本原子力産業協会が共同事務局となり、当面、人材育成に係るデータベースの構築を図るとともに、参加各機関との連絡調整および機関横断的な人材育成事業活動等を行うこととなっている。ネットワークを通じた、国内外の原子力の将来を見据えた人材育成の充実・強化に向けて、多くの関係機関のネットワークへの参加を期待する。

以 上